



新型コロナウイルスに便乗した詐欺が急増！その手口と対策は

安平町地域包括支援センターの社会福祉士 関根 正人です。今回は「あなたを狙う新型コロナウイルスに便乗した詐欺」の手口や対策などをご紹介します。

警視庁の報告では、新型コロナウイルスに乗じた特殊詐欺の被害総額は計7,260万円と発表されており、今後も注意が必要です。

実際に報告されている新型コロナウイルスの便乗詐欺の一例を紹介します。

1. キャッシュカード詐欺

行政職員を名乗り「給付金を受け取るには新しいキャッシュカードが必要」として自宅を訪問し言葉巧みにカードも持ってこさせて隙をみてキャッシュカードをすり替え、盗み取る。

【対策】

- ・絶対にキャッシュカードを渡さない。暗証番号は絶対に教えない。
- ・行政職員や警察官などがキャッシュカードの番号を聞いたり、カードを取りに行くことはありません。

2. なりすまし（オレオレ詐欺・ワタシワタシ詐欺）

子どもになりすまし「もしかしたら新型コロナになったかもしれないからこれから検査を受ける」「検査をしたら陽性だった」等と現金を要求する。

【対策】

- ・「携帯電話の番号が変わった」とかかってきたら詐欺の可能性大。元の番号に電話して確認することが大切。
- ・官公庁や団体から電話があった場合、信じることなく電話帳や電話番号案内で調べる習慣をつけましょう。

3. 還付金詐欺

行政職員を名乗る人物から「還付金があるがコロナのため銀行ではなくATMで手続きをする」と言葉巧みにATMやコンビニからお金を振り込ませようとする。

【対策】

「携帯電話を持ってATMへ行け」と言われたら落ち着いて断る。



●その他

保健センター職員と偽り「マスクやPCR検査キットを送付するため家族構成を教えてください」、高齢者宛に「気を付けるように」という電話をして個人情報入手や所在を確認する「アポ電」の可能性がります。

もし詐欺のような電話や訪問がありましたら、地域全体で注意していく必要があるため、警察署や最寄りの駐在所、役場総務課、地域包括支援センターまでご連絡・ご相談ください。

連絡先 苫小牧警察署 ☎0144 ③ 0110 総務課情報グループ ☎② 2511

安平町地域包括支援センター ☎②9 7072（早来）、☎②5 4555（追分）